



# 復習シート 第六学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題】

レベル8・9

1 生活委員会の川村さんは、安全な生活について集会で発表することになりました。全校に伝えるときに、資料を一つだけ使用することにしました。あなたなら川村さんにどちらの資料をすすめますか。また、選んだ資料を使うことによって、どのような効果がありますか。あとの条件にしたがって考えを書きましょう。

## 【資料を使う前のスピーチ】

みなさんは、ろう下を走ったことがありますか。ろう下を走ることはいけないとわかっていても、つい走ってしまい、危ない目にあつたことのある人もいます。私は先日、授業に遅れそうだったので、あわててろう下を走ってしまいました。曲がり角を曲がったしゅん間、下級生とぶつかってしまいました。私は、けがをしなかったのですが、ぶつかった下級生は、転んでしまい、足にあざができてしまいました。私はその時はじめて、ろう下を走ることの危険性を実感しました。私は、生活委員会として、ろう下を走らないようにするための工夫が必要だと思いました。となりの学校では、ろう下を走らないための取組をしているそうです。私は、みんながろう下を走らない安全な学校にしていきたいです。

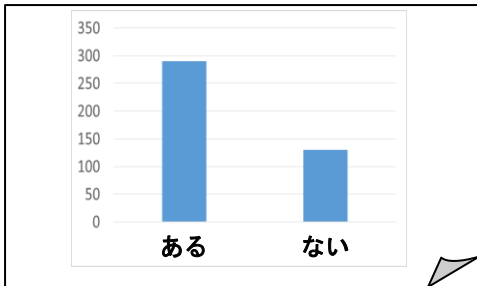
## 【資料①】 となりの学校のろう下を 走らないための工夫

- ・給食の放送で呼びかける
- ・校内にポスターをはる
- ・おたがいに注意をしよう

条件① 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。  
 条件② 一段落目には、資料①・資料②のうち、どちらの資料を使うのがよいと思うか、一つだけ書くこと。  
 条件③ 二段落目には、その資料を使用することによって、何がどのようによくなるか(効果)を、【資料を使う前のスピーチ】の内容に触れて書くこと。

・条件①②③に合っているか、一つ一つ確認しましょう。  
 ・「です」「ます」や「だ」「である」のように、文末表現をそろえましょう。  
 ・理由を書く時は、【資料を使う前のスピーチ】の足りないことに触れましょう。また、「理由は、だからです。」「なぜなら、だからだ。」などの表現を使いましょう。

## 【資料②】 本校のろう下を走って、 人にぶつかったことがある人



【正答例】

私は、資料①を使う方がよいと思います。  
 なぜなら、資料①を使うことによって、となりの学校の工夫が具体的に分かるからです。となりの学校の工夫を参考に、みんなが、自分の学校の工夫について考えるようになると思います。

ぼくは、資料②を使う方がよいと思う。  
 理由は、資料②を使うことによって、実際に学校でどれだけ多くの人が走っていて、危険な思いをしているのかわかるからだ。人数が多いことを全校が知れば、意識が変わるきっかけになると思う。

# 復習シート 第六学年 国語



|    |  |
|----|--|
| 組  |  |
| 番号 |  |
| 名前 |  |

【自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考える問題】

1

図書委員長の山田さんは、四月から七月の活動を振り返り、それを「活動報告書」にまとめ、九月の委員会活動で報告することになりました。山田さんの活動報告書を読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【山田さんの活動報告】

### 図書委員会の活動報告(4月から7月)

図書委員長 山田

ア

1学期は、次のように活動した。

- 4月 図書室の使い方を放送・ポスターでお知らせをする。
- 5月 図書室での貸出しを始める。
- 6月 雨の日の休み時間に「紙しばい」を行う。
- 7月 1学期の反省と利用者数の集計をする。

イ

#### ●図書室の使い方を全校へ知らせる(4月)

- ・放送グループ班とポスターグループ班に分かれて準備をした。
- ・ポスターを各クラスに配布後、昼の放送を行った。

#### ●貸し出しの開始(5月)

- ・混んでしまうことが予想し、当番を増やした。
- ・スムーズに貸出しをすることができた。

#### ●雨の日の休み時間に「紙芝居」(6月)

- ・梅雨で室内遊びが増えたため、低学年に向けて「紙しばい」を行った。
- ・中学年から、紙芝居が見たいという意見があった。

#### ●反省会と利用者数の集計(7月)

- ・反省会を開いた。
- ・1学期の利用者数を集計した。
- ・高学年の利用が少ないことが課題とわかった。

ウ

- ・大体、計画にそって活動することができた。
- ・協力して活動できた。
- ・反省点は、当番を忘れてしまう人がいたこと。
- ・お互いに当番を忘れないように、表などを作って、確認をするとよい。

エ

- ・2学期は「秋の読書週間」の取組がある。
- ・高学年の利用者が増えるよう、工夫した取組を行う。

(1)

ア

から

エ

には、小見出しが入ります。

山田さんは、それぞれ

れにどのような小見出しをつけたでしょうか。①から⑤の中からそれぞれ選びましょう。**レベル6・7**

.....

.....

.....

.....

ア

イ

ウ

エ

①活動をして考えたこと

②各月の活動

③今後の活動について

④活動をしてよかったこと

⑤活動内容

# 復習シート 第六学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考える問題】

①

図書委員長の山田さんは、四月から七月の活動を振り返り、それを「活動報告書」にまとめ、九月の委員会活動で報告することになりました。山田さんの活動報告書を読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【山田さんの活動報告】

### 図書委員会の活動報告(4月から7月)

図書委員長 山田

ア

1学期は、次のように活動した。

- 4月 図書室の使い方を放送・ポスターでお知らせをする。
- 5月 図書室での貸出しを始める。
- 6月 雨の日の休み時間に「紙しばい」を行う。
- 7月 1学期の反省と利用者数の集計をする。

イ

#### ●図書室の使い方を全校へ知らせる(4月)

- ・放送グループ班とポスターグループ班に分かれて準備をした。
- ・ポスターを各クラスに配布後、昼の放送を行った。

#### ●貸し出しの開始(5月)

- ・混んでしまうことが予想し、当番を増やした。
- ・スムーズに貸出しをすることができた。

#### ●雨の日の休み時間に「紙芝居」(6月)

- ・梅雨で室内遊びが増えたため、低学年に向けて「紙しばい」を行った。
- ・中学年から、紙芝居が見たいという意見があった。

#### ●反省会と利用者数の集計(7月)

- ・反省会を開いた。
- ・1学期の利用者数を集計した。
- ・高学年の利用が少ないことが課題とわかった。

ウ

- ・大体、計画にそって活動することができた。
- ・協力して活動できた。
- ・反省点は、当番を忘れてしまう人がいたこと。
- ・お互いに当番を忘れないように、表などを作って、確認するとよい。

エ

- ・2学期は「秋の読書週間」の取組がある。
- ・高学年の利用者が増えるよう、工夫した取組を行う。

(1)

ア

から

エ

には、小見出しが入ります。山田さんは、それぞれ

れにどのような小見出しをつけたでしょうか。①から⑤の中からそれぞれ選びましょう。

レベル6・7

②

⑤

①

③

ア

イ

ウ

エ

- ①活動をして考えたこと
- ②各月の活動
- ③今後の活動について
- ④活動をしてよかったこと
- ⑤活動内容

小見出しと内容が合っているか、一つ一つ確かめましょう。  
内容には、どのようなことが書かれているか、よく読んでみましょう。自分でも小見出しをつけて、新聞や報告書など書けるようにしましょう。